



NVIDIA、2017 年会計年度の通期と第 4 四半期の業績を発表

カリフォルニア州サンタクララ (2017 年 2 月 9 日) —NVIDIA (NASDAQ: [NVDA](#))

- 第 4 四半期の売上高は前年同期比 55%増の 21 億 7,000 万ドルを記録
- 通期の売上高は前年度比 38%増の 69 億 1,000 万ドルを記録
- 米国 GAAP に基づく業績では、売上高総利益率は 60.0%、非 GAAP に基づく業績では、売上高総利益率は 60.2%を記録
- GPU コンピューティング プラットフォームは、引き続き、全ての製品ラインで増勢

NVIDIA (NASDAQ: NVDA) は本日、2017 年 1 月 29 日を末日とする第 4 四半期の売上高が 21 億 7,000 万ドルとなったと発表しました。これは、前年同期の 14 億ドルから 55%増、前四半期の 20 億ドルから 8%増にあたります。

米国 GAAP に基づく業績では、第 4 四半期の希薄後 1 株当たりの利益は 0.99 ドルとなりました。これは、前年同期の 0.35 ドルから 183%増、前四半期の 0.83 ドルから 19%増にあたります。非 GAAP に基づく業績では、希薄後 1 株当たりの利益は 1.13 ドルとなり、前年同期の 0.52 ドルから 117%増、前四半期の 0.94 ドルから 20%増となりました。

2017 年会計年度の売上高は、69 億 1,000 万ドルと過去最高を記録しました。これは、2016 年会計年度の 50 億 1,000 万ドルから 38%増にあたります。米国 GAAP に基づく業績では、2017 年会計年度の希薄後 1 株当たりの利益は 2.57 ドルと、前年度の 1.08 ドルから 138%増となりました。非 GAAP に基づく希薄後 1 株当たりの利益は 3.06 ドルと、前年度の 1.67 ドルから 83%増となりました。

NVIDIA の創設者兼 CEO、ジェンスン・ファン (Jen-Hsun Huang) は、次のように述べています。「当社は全ての事業で力強い成長を続け、第 4 四半期も素晴らしい成績を上げたことで、本会計年度は過去最高の業績となりました。当社の GPU コンピューティング プラットフォームは、人工知能、クラウド コンピューティング、ゲームおよび自律走行車に急速に採用されつつあります。」

「NVIDIA GPU をベースとするディープラーニングは、AI への画期的な取り組みであり、自動運転車、がんの早期発見および天気予報などの課題への取り組みを支援しています。当社は GPU をベースとしたディープラーニングが、消費者のインターネットや輸送からヘルスケア、製造業に至るまで、主要な産業で変革を起こすと考えています。我々は AI の時代を迎えたのです。」

資本の還元

2017 年会計年度に、NVIDIA は自社株買いのために 7 億 3,900 万ドルを、現金配当として 2 億 6,100 万ドルを支払いました。結果として、2017 年会計年度に合計 10 億ドルを株主に還元したことになります。

2018 年会計年度については、四半期の現金配当と自社株買いの継続を通じて 12 億 5,000 万ドルを株主に還元する予定です。

今回の四半期現金配当は 1 株当たり 0.14 ドルとし、2017 年 2 月 24 日を配当基準日として、2017 年 3 月 17 日に支払う予定です。

2017 年会計年度第 4 四半期の概要

四半期財務情報 (GAAP ベース) の比較					
(単位: 百万ドル 1 株当たりのものを除く)	Q4 FY17	Q3 FY17	Q4 FY16	Q/Q	Y/Y
売上高	\$2,173	\$2,004	\$1,401	8%増	55%増
売上高総利益率	60.0%	59.0%	56.5%	100 bps 増	350 bps 増
営業費用	\$570	\$544	\$539	5%増	6%増
営業利益	\$733	\$639	\$252	15%増	191%増
純利益	\$655	\$542	\$207	21%増	216%増
希薄後 1 株当たりの利益	\$0.99	\$0.83	\$0.35	19%増	183%増

四半期財務情報 (非 GAAP ベース) の比較					
(単位: 百万ドル 1 株当たりのものを除く)	Q4FY17	Q3FY17	Q4FY16	Q/Q	Y/Y
売上高	\$2,173	\$2,004	\$1,401	8%増	55%増
売上高総利益率	60.2%	59.2%	57.2%	100 bps 増	300 bps 増
営業費用	\$498	\$478	\$445	4%増	12%増
営業利益	\$809	\$708	\$356	14%増	127%増
純利益	\$704	\$570	\$297	24%増	137%増
希薄後 1 株当たりの利益	\$1.13	\$0.94	\$0.52	20%増	117%増

2017 年会計年度の概要

財務情報 (GAAP ベース) の比較			
(単位: 百万ドル 1 株当たりのものを除く)	FY17	FY16	Y/Y
売上高	\$6,910	\$5,010	38%増
売上高総利益率	58.8%	56.1%	270 bps 増
営業費用	\$2,129	\$2,064	3%増
営業利益	\$1,934	\$747	159%増
純利益	\$1,666	\$614	171%増
希薄後 1 株当たりの利益	\$2.57	\$1.08	138%増

財務情報 (非 GAAP ベース) の比較			
(単位: 百万ドル 1 株当たりのものを除く)	FY17	FY16	Y/Y
売上高	\$6,910	\$5,010	38%増
売上高総利益率	59.2%	56.8%	240 bps 増
営業費用	\$1,867	\$1,721	8%増
営業利益	\$2,221	\$1,125	97%増
純利益	\$1,851	\$929	99%増
希薄後 1 株当たりの利益	\$3.06	\$1.67	83%増

2018 年会計年度第 1 四半期については、以下のように予想されます。

- 売上高は、19 億ドル±2%の範囲になる見込みです。
- 売上高総利益率は、GAAP ベースが 59.5%±0.5%、非 GAAP ベースが 59.7%±0.5%となる見込みです。
- GAAP ベースの営業費用は約 6 億 300 万ドルとなる見込みで、非 GAAP ベースの営業費用は約 5 億 2,000 万ドルとなる見込みです。

- GAAP ベースのその他収益および費用（純額）は、転換社債の早期転換に伴う追加費用を含め約 2,000 万ドルの費用となる見込みです。非 GAAP ベースのその他収益および費用（純額）は、約 400 万ドルの費用となる見込みです。
- 2018 年会計年度第 1 四半期の GAAP 税率および非 GAAP 税率は、ともに 17%±1%となる見込みです（個別項目は除く）。
- GAAP ベースおよび非 GAAP ベースの希薄後 EPS（1 株当たり利益）の計算に用いた加重平均株式数は、本四半期中の加重平均株価を基準としています。
- 資本支出は約 5,000 万ドルから 6,000 万ドルの範囲になるものと見込まれます。

2017 年会計年度第 4 四半期のハイライト

第 4 四半期において、NVIDIA は 4 つの主要プラットフォームごとに以下のような成果を上げました。

ゲーム:

- モバイル GPU の [GeForce® GTX 1050 と 1050 Ti](#) を発売、CES (Consumer Electronics Show: 家電見本市) 2017 では 30 超のゲーム用ノートパソコンに搭載されました。
- TV 向け Google アシスタント、SmartThings Hub の技術および NVIDIA SPOT™の AI マイクに対応した[新型 SHIELD™ TV](#) を発売しました。
- [GeForce NOW™ サービス](#)を開始し、NVIDIA Pascal™ゲーム用 PC をクラウドからオンデマンドで全てのコンピューターに提供しています。

プロフェッショナル ビジューライゼーション:

- [Quadro® GP100](#) を搭載した NVIDIA 新型ワークステーションの製品ラインナップを発表、かつてないクラスのスーパーコンピューティング ワークステーションを実現しました。
- [Quadro P5000](#) を発表、Dell と MSI から発売された初の VR 対応モバイル ワークステーションに搭載されました。

データセンター:

- AI の加速を目指し、[Microsoft](#) と共同で GPU アクセラレーテッド Microsoft Cognitive Toolkit を Microsoft Azure クラウドおよび NVIDIA DGX-1™で利用可能にしました。

- 米国立がん研究所および米エネルギー省と連携し、[がん研究促進のための AI フレームワーク](#)、CANDLE (Cancer Distributed Learning Environment: がん分散学習環境) を構築しました。
- Pascal ベースの DGX-1 サーバーを 124 ノード搭載した[世界最高効率のスーパーコンピューター](#)、NVIDIA [DGX SATURNV](#) AI スーパーコンピューターを発表しました。

自動車:

- [Audi](#)とのパートナーシップを本格化させ、2020 年までに最先端の AI カーの路上走行実現を目指すことを発表しました。
- [Mercedes-Benz](#) と提携し、NVIDIA AI 搭載自動車を発売することを発表しました。
- 世界最大の自動車部品サプライヤー [Bosch](#) と連携し、量産車に自動運転システムを採用することを発表しました。
- ドイツの [ZF](#) と共同で、自動車、トラックおよび商用車を対象に、[NVIDIA DRIVE™ PX 2](#) 車載 AI コンピューターをベースとする自動運転システムを開発することを発表しました。
- 欧州の [HERE](#) と共同で、自立走行車向けに、HERE HD Live Map をリアルタイムかつ高精細 (HD) の地図作製ソリューションへと展開することを発表しました。
- 日本の [ゼンリン](#) と自動運転車向け「cloud-to-car」HD マップ ソリューションの共同研究を行うことで合意しました。

NVIDIA CFO によるコメント

NVIDIA のエグゼクティブ バイスプレジデント・最高財務責任者、コレット・クレス (Colette Kress) による本四半期に関するコメントを <http://investor.nvidia.com/> で読むことができます (英語)。

非 GAAP 財務指標について

NVIDIA では、GAAP ベースの要約連結損益計算書と要約連結貸借対照表に加え、一部の項目については非 GAAP ベースの財務指標を使用しています。使用している非 GAAP 財務指標は、非 GAAP ベースの売上総利益、非 GAAP ベースの売上高総利益率、非 GAAP ベースの営業費用、非 GAAP ベースの営業利益、非 GAAP ベースのその他利益 (費用) (純額)、非 GAAP の支払法人税、非 GAAP ベースの純利益、非 GAAP ベースの希薄後 1 株当たり純利益あるいは利益、非 GAAP ベースの希薄後株式数ならびにフリーキャッシュフローです。また、現在と過去の財務指標が比較しやすいように、GAAP ベースの財務指標と非 GAAP ベースの財務指標がどのような関係にあるのかも明らかにしています。この情報を活用すれば、関連する GAAP 財務指標から、株式報酬費用、訴訟和解費用、製品保証費用、買収関連費用、拠出金、リストラその他関連費、関係会社以外への投資による損益、減債償却に関連する支払利息、転換社債の早期転換に伴う損失、および存在する場合には、これらの項目に関連して発生する税金の影響を除外することができ

ます。非 GAAP ベースの希薄後 1 株当たり純利益は加重平均株式数を用いて算出していますが、その際、社債ヘッジの反希薄効果を考慮しています。フリー キャッシュフローは、営業活動の収益から不動産や設備、無形資産の購入費を差し引いた GAAP ベースのキャッシュ純額として算出されます。非 GAAP 財務指標の提示は、当社の財務実績に対する理解が全般的に高まるものと NVIDIA では考えています。なお、NVIDIA が提示している非 GAAP 財務指標はそれのみを独立して見るべきものでもなければ、GAAP ベースで作成された財務情報に代わるものでもありません。また、NVIDIA が提示する非 GAAP 財務指標は、他社が提示する非 GAAP 財務指標とは異なる可能性があります。

NVIDIA CORPORATION

要約連結損益計算書

(単位: 百万ドル 1 株当たりのものを除く)

(未監査)

	四半期末		年度末	
	2017 年 1 月 29 日	2016 年 1 月 31 日	2017 年 1 月 29 日	2016 年 1 月 31 日
売上高	\$ 2,173	\$ 1,401	\$ 6,910	\$ 5,010
売上原価	870	610	2,847	2,199
総利益	1,303	791	4,063	2,811
営業費用				
研究開発費	394	344	1,463	1,331
販売費・一般管理費	176	161	663	602
リストラその他関連費	-	34	3	131
営業費用合計	570	539	2,129	2,064
営業利益	733	252	1,934	747
受取利息	17	11	54	39
支払利息	(18)	(12)	(58)	(47)
その他収益 (費用) (純額)	(6)	2	(25)	4
法人税費用控除前利益	726	253	1,905	743

法人税費用	71	46	239	129
当期純利益	\$ 655	\$ 207	\$ 1,666	\$ 614

1 株当たり純利益

希薄化前	\$ 1.18	\$ 0.38	\$ 3.08	\$ 1.13
希薄化後	\$ 0.99	\$ 0.35	\$ 2.57	\$ 1.08

1 株当たりの計算に用いた加重平均株式数

希薄化前	553	539	541	543
希薄化後	660	593	649	569

NVIDIA CORPORATION

要約連結貸借対照表

(単位: 百万ドル)

(未監査)

	2017年	2016年
	1月29日	1月31日
資産の部		
流動資産		
現金、現金同等物および市場性のある有価証券	\$ 6,798	\$ 5,037
売掛金勘定 (純額)	826	505
棚卸資産	794	418
前払費用およびその他の流動資産	118	93
流動資産合計	8,536	6,053

固定資産（純額）	521	466
のれん	618	618
無形資産（純額）	104	166
その他の資産	62	67
資産合計	<u>\$ 9,841</u>	<u>\$ 7,370</u>

負債、転換社債転換債務および資本の部

流動負債

買掛金勘定	\$ 485	\$ 296
未払およびその他の流動負債	507	642
短期転換社債	796	1,413
流動負債合計	<u>1,788</u>	<u>2,351</u>

長期社債	1,983	-
その他長期負債	271	453
リース資産債務（長期）	6	10
負債合計	<u>4,048</u>	<u>2,814</u>

転換社債転換債務	31	87
----------	----	----

株主資本	<u>5,762</u>	<u>4,469</u>
負債、転換社債転換債務および資本合計	<u>\$ 9,841</u>	<u>\$ 7,370</u>

NVIDIA CORPORATION

GAAP ベースから非 GAAP ベースの財務情報の調整

(単位: 百万ドル 1 株当たりのものを除く)

(未監査)

	四半期末			年度末	
	2017 年 1 月 29 日	2016 年 10 月 30 日	2016 年 1 月 31 日	2017 年 1 月 29 日	2016 年 1 月 31 日
GAAP ベースの総利益	\$ 1,303	\$ 1,183	\$ 791	\$ 4,063	\$ 2,811
GAAP ベースの総利益率	60.0 %	59.0 %	56.5 %	58.8 %	56.1 %
株式報酬費用					
(A)	4	3	5	15	15
訴訟和解費用					
(B)	-	-	-	10	-
製品保証費 (C)	-	-	5	-	20
非 GAAP ベースの総利益	\$ 1,307	\$ 1,186	\$ 801	\$ 4,088	\$ 2,846
非 GAAP ベースの総利益率	60.2 %	59.2 %	57.2 %	59.2 %	56.8 %
GAAP ベースの営業費用	\$ 570	\$ 544	\$ 539	\$ 2,129	\$ 2,064
株式報酬費用					
(A)	(68)	(62)	(56)	(233)	(190)
訴訟和解費用					
(B)	-	-	-	(6)	-
買収関連費 (D)	(4)	(4)	(4)	(16)	(22)
拠出金	-	-	-	(4)	-

リストラその他関連 費用	-	-	(34)	(3)	(131)
非 GAAP ベースの営 業費用	\$ 498	\$ 478	\$ 445	\$ 1,867	\$ 1,721
GAAP ベースの営業利 益	\$ 733	\$ 639	\$ 252	\$ 1,934	\$ 747
営業利益に対する非 GAAP 調整の影響額 合計	76	69	104	287	378
非 GAAP ベースの営 業利益	\$ 809	\$ 708	\$ 356	\$ 2,221	\$ 1,125
GAAP ベースのその他 利益 (費用) (純額)	\$ (7)	\$ (18)	\$ 1	\$ (29)	\$ (4)
関係会社以外への 投資による利益	(1)	-	-	(4)	(5)
減債償却に関連す る支払利息	4	6	7	25	29
転換社債の早期 転換に伴う損失	6	15	-	21	-
非 GAAP ベースのその 他利益 (純額)	\$ 2	\$ 3	\$ 8	\$ 13	\$ 20
GAAP ベースの純利益 *	\$ 655	\$ 542	\$ 207	\$ 1,666	\$ 614
非 GAAP 調整の税 引前合計影響額	85	90	111	329	402
非 GAAP 調整の法 人税に対する影響 額	(36)	(62)	(21)	(144)	(87)
非 GAAP ベースの純 利益	\$ 704	\$ 570	\$ 297	\$ 1,851	\$ 929

希薄後 1 株当たり純
利益

GAAP ベース*	\$ 0.99	\$ 0.83	\$ 0.35	\$ 2.57	\$ 1.08
非 GAAP ベース	\$ 1.13	\$ 0.94	\$ 0.52	\$ 3.06	\$ 1.67

希薄後 1 株当たり純
利益の計算に用いた
加重平均株式数

GAAP ベース*	660	653	593	649	569
債券ヘッジによる希 薄化防止影響額 (E)	(36)	(45)	(26)	(44)	(13)
非 GAAP ベース	624	608	567	605	556

GAAP ベースの営業活
動によるキャッシュ純額

*	\$ 721	\$ 432	\$ 510	\$ 1,672	\$ 1,175
固定資産および無形 資産の購入	(52)	(38)	(15)	(176)	(86)
フリー キャッシュフロー	\$ 669	\$ 394	\$ 495	\$ 1,496	\$ 1,089

* NVIDIA は、2017 年会計年度第 3 四半期に会計基準 (ASU 2016-09) を適用しました。これにより、2017 年会計年度 (本年の全会計四半期を含む) から調整を反映させることが義務付けられました。

	四半期末			年度末	
	2017年	2016年	2016年	2017年	2016年
	1月29日	10月30日	1月31日	1月29日	1月31日
(A) 株式報酬を次のとおり除外					
売上原価	\$ 4	\$ 3	\$ 5	\$ 15	\$ 15
研究開発費	\$ 40	\$ 35	\$ 33	\$ 135	\$ 115
販売費・一般管理費	\$ 27	\$ 27	\$ 22	\$ 98	\$ 74
(B) Advanced Silicon Technologies LLCとの訴訟和解費用およびその他の和解関連費用					
(C) 製品リコールに関連する保証費に相当					
(D) 買収関連の無形資産の償却および報酬費を含む					
(E) 現在発行済みの2018年満期の1.00%転換優先債券の転換時に交付される株式数に相当。米国GAAPでは、ヘッジ取引で交付される株式数は、実際に交付されるまでは完全希薄化後株式数の計算において相殺される株式数とはみなされない。					

NVIDIA CORPORATION
GAAP ベースから非 GAAP ベースの見通しの調整

Q1 FY2018 見通し

GAAP ベースの総利益率	59.5 %
株式ベースの報酬の影響額	0.2 %
非 GAAP ベースの総利益率	59.7 %

Q1 FY2018 見通し

(単位: 百万ドル)

GAAP ベースの営業費用	\$	603
株式ベースの報酬費用、買収関連費およびその他の費用		(83)
非 GAAP ベースの営業費用	\$	520

NVIDIA の最新情報は、以下の方法で入手できます。

公式ブログ [NVIDIA blog](#)、[Facebook](#)、[Google+](#)、[Twitter](#)、[LinkedIn](#) および [Instagram](#)、NVIDIA に関する動画 [YouTube](#)、画像 [Flickr](#)。

NVIDIA について

NVIDIA が 1999 年に開発した GPU は、PC ゲーム市場の成長に拍車をかけ、現代のコンピューターグラフィックスを再定義し、並列コンピューティングを一変させました。最近では、GPU ディープラーニングが最新の AI、つまりコンピューティングの新時代の火付け役となり、世界を認知して理解できるコンピュータ、ロボット、自動運転車の脳の役割を GPU が果たすまでになりました。今日、NVIDIA は「AI コンピューティングカンパニー」として知名度を上げています。詳しい情報は、<http://www.nvidia.co.jp/> をご覧ください。

本プレスリリースに記載されている、同社の GPU プラットフォームの継続的な利益享受と急速な採用;GPU ベースのディープラーニング;2018 年度の当社の目標投資利益; 次の四半期の現金配当金; 2018 年度第 1 四半期の財務見通し; 2018 年度第 1 四半期の同社の税率; Quadro、CANDLE、および自動車パートナーシップの影響と利点は大幅に異なる結果が生じるリスクと不確実性を伴っています。かかるリスクと不確実性は、世界的な経済環境、サードパーティーに依存する製品の製造・組立・梱包・試験、技術開発および競合による影響、新しい製品やテクノロジーの開発あるいは既存の製品やテクノロジーの改良、当社製品やパートナー企業の製品の市場への浸透、デザイン・製造あるいはソフトウェアの欠陥、ユーザーの嗜好および需要の変化、業界標準やインターフェースの変更、システム統合時に当社製品および技術の予期せぬパフォーマンスにより生じる損失などを含み、その他のリスクの詳細に関しては、Form10-Q の 2016 年 10 月 30 日を末日とする四半期レポートなど、米証券取引委員会 (SEC) に提出されている NVIDIA の報告書に適宜記載されます。SEC への提出書類は写しが NVIDIA のウェブサイトに掲載されており、NVIDIA から無償で入手することができます。これらの将来予測的な記述は発表日時点の見解に基づくものであって将来的な業績を保証するものではなく、法律による定めがある場合を除き、今後発生する事態や環境の変化に応じてこれらの記述を更新する義務を NVIDIA は一切負いません。

© 2017 NVIDIA Corporation. All rights reserved. NVIDIA、NVIDIA ロゴおよび、GeForce、Quadro、Tesla、GeForce NOW、NVIDIA DGX-1、NVIDIA DRIVE、NVIDIA SPOT、SHIELD と Pascal はその他の国における NVIDIA Corporation の商標あるいは登録商標です。その他の企業名および製品名は、それぞれ各社の商標である可能性があります。機能や価格、供給状況、仕様は、予告なく変更される場合があります。